

令和3年度小学校連合同工展覧会・中学校連合作品展覧会・小学校連合書写展覧会 について

1 開催内容

	展覧会名	日程	内容等
1	令和3年度 豊島区立小学校 連合同工展覧会	令和4年 1月14日(金)～17日(月)	○ テーマ 「子どもの力、図工の力」 ○ 小学校児童(1年生～6年 生)の図工の作品を展示
2	令和3年度 豊島区立中学校 連合作品展覧会	令和4年 1月21日(金)～24日(月)	○ テーマ 「21世紀を生きる豊かな感性」 ○ 中学校生徒(1年生～3年 生)の書写、美術、技術・家庭の 作品を展示
3	令和3年度 豊島区立小学校 連合書写展覧会	令和4年 1月28日(金)～31日(月)	○ 小学校児童(1年生～6年 生)の書写作品を展示 ○ 1・2年生 硬筆作品 ○ 3年生以上 毛筆作品

2 会場

令和3年度連合行事検討委員会において、コロナ禍における展覧会の開催方法について検討し、令和3年度は感染症対策を徹底し、以下の会場で展覧会を開催することとした。

旧真和中学校 体育館
(豊島区目白5丁目24番12号)



3 当日の様子

(1) 連合同工展覧会

・来場者数 3066名(令和元年度 2957名)



(2) 連合作品展覧会

・来場者数 681名(令和元年度 756名)



(3) 連合書写展覧会

・来場者数 1487名(令和元年度 2338名)



4 来年度に向けて

令和3年度はコロナ禍であることから、会場を例年開催していたセンタースクエアから、旧真和中学校 体育館に変更し開催した。感染症対策のため、会場アンケートは実施しなかったが、学校からの聞き取り等により、以下の成果と課題を整理した。

(1) 成果

- ① 令和2年度はコロナウイルス感染症拡大により、会場確保が難しく、連合展覧会が開催できなかった。令和3年度は旧真和中学校を会場として確保し、子どもたちの日頃の学習の文化的な成果を保護者や地域の方に見ていただく機会を得たことは成果である。
- ② 展示パネル等を業者委託し、例年と同様規模の展示作品数を確保した。児童生徒の保護者が多く来場し、学校ら寄せられた声によれば、「コロナで中止になるかと思っていたので、展示の機会があり嬉しく思った」、「どの作品も子どもたちの個性が感じられ、まさに共生の雰囲気会場にあふれていた」といった保護者の声や、「私の作品をみんなに見てもらえてうれしかった」、「こんなすごい作品を作る同じ学年の人がいて驚いた」といった、個性を認め合う子どもたちの声が聞かれたことは最も大きな成果である。

(2) 課題

- ① センタースクエアから比較すると、天井からの作品展示や施設使用等の制約がある。また、旧真和中学校体育館は、区内西部に位置しており、区東部にある学校の保護者等については不便さがある。
- ② 旧真和中学校は、駐車場の広さがあるため、作品の搬出入は便利であるが、雨天の場合の雨

よけスペースが少なく、来場する際も雨天の場合には不便さがある。

- ③ 今年度の作品展示スペースは、感染予防のため広く間隔を開けて設定したが、予備的なスペースが多く、展覧会ごとの展示作品数のバランスが取れていなかった。

(3) 来年度に向けて

小学校の図工作品と書写作品とを合わせて展示することが可能であると考えられる。令和4年度の連合行事検討委員会において、特別支援学級による「まとめ展 作品展示」と合わせ、集約した児童生徒作品を一定の期間中に展示する方法等を考え、今年度と同様、できるだけ多くの保護者や地域の方々に無理なく参観いただけるよう検討する。